

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年06月30日

計画の名称	福井県における循環のみちの実現（テクノポート福井）その2													
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	福井県													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		3,553	A	3,553	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A ＋ B ＋ C ＋ D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H28当初）	（H30末）	（R2末）
1	下水道汚水量増加に伴う必要施設増設率を0%から50%に向上させる。			
	必要施設増設率 増設済み施設数／H32時点の予測水量に対して増設が必要な施設数（4施設）	0%	25%	50%
2	ストックマネジメント計画に基づいた改築工事の進捗率を0%から100%に向上させる。			
	ストックマネジメント計画に基づいた改築工事の進捗率 改築済み施設数／ストックマネジメント計画に基づいた改築する施設数（17施設）	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	福井県	直接	福井県	終末処 理場	新設	テクノポート福井浄化セ ンター、管路施設	施設増設（自家発電設備（1,000 k VA）、300φ L=600m、排水処理設備、汚泥脱水設備）	坂井市、福井市	■	■	■	■	■	1,160		-
	A07-002	下水道	一般	福井県	直接	福井県	終末処 理場	改築	テクノポート福井浄化セ ンター、中継ポンプ場、 管路施設	施設改築、耐震化	坂井市、福井市	■	■	■	■	■	2,393		策定済
		ストックマネジメント																	
											小計						3,553		
											合計						3,553		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

福井県において評価を実施

事後評価の実施時期

事業完了後

公表の方法

福井県ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

R2年度末時点での予測水量に対して必要となる污水处理施設を整備するとともに、R2年度末までに改築が必要となる処理施設等を改築したことにより、計画期間内において施設に起因する放流水水質の基準逸脱事象も発生することなく、公共用水の水質保全に寄与することができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

新規ユーザーの進出にあわせて適切に污水管を布設することにより、未処理の污水が環境へ流出することがなかった。また、将来の需要量予測に対応するため、排水処理設備、汚泥脱水設備の増設を進めている。

○特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き計画的かつ効率的に設備の改築を進め、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	施設		
	最 終 目標値	50%	当初の予定どおり事業を進めることができた。
	最 終 実績値	50%	
2	施設		
	最 終 目標値	100%	当初の予定どおり事業を進めることができた。
	最 終 実績値	100%	